

2017. 11

会報

# ひまわり

第174号

発行責任者 水上 弘祥  
編集責任者 臼井 登



## ● 今月の内容 ●

各局からの報告  
地区からの報告  
事務局便り



公益社団法人 北海道鍼灸柔整マッサージ師会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西1丁目10番地  
ピア2・1 702号  
TEL (011)222-4189  
FAX (011)222-5589  
URL: <http://doshinshikai.jp/>  
E-mail: [hhkm@gaea.ocn.ne.jp](mailto:hhkm@gaea.ocn.ne.jp)

## 各局からの報告

### 事業局

事業局長 石橋 剛

#### 第14回躍進大会報告

去る10月28日29日の両日、札幌市の札幌第一ホテルにて公益社団法人北海道鍼灸柔整マッサージ師会第14回躍進大会が盛大に開催されました。今年はセイリン株式会社主催 第3回北海道地区鍼灸学校合同学習成果発表会とジョイントし、賑やかな大会となりました。初日は今年度、公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会会長に就任されました伊藤久夫先生の基調講演に始まり、副会長の往田和章先生による治療院経営について深い部分まで講演があり、その後、会創立85周年記念祝賀会が開催され夜遅くまで親交を深めました。

2日目は今年度の目玉事業でもあるリハビリテーション医学講座の3回目と最終回、2020東京オリンピックパラリンピックをにらんだ日本スポーツ医科学学会会長の笹川隆人先生らによる、スポーツ領域におけるあはき手技の実技供覧や各業種にとっての連携の現場等の説明がありました。また美容鍼灸の安全管理講習も開催された。昼からは元コンサドーレ札幌の曾田選手の自身の故障体験に基づく講演があり、参加会員は興味深く聞き入っていた。今回は学生の学習成果発表会とジョイントということで、往年のベテラン鍼灸マッサージ師が熱心な学生さん達に混じり発表を聴講するという貴重な機会を得ることが出来た。本会としても今後このような次代を担う若手の皆さんと交流を持つ場面を増やし知識や技術を伝え、また良い刺激を受け取れるような機会を作りたいと考えています。

### 総務局

総務局長 片平 巧

#### 公益社団法人北海道鍼灸柔整マッサージ師会 第14回躍進大会報告

テーマ「よりそえる医療へ」～もとめられる専門性と連携力～

第14回躍進大会が10月28日(土)15時より札幌第一ホテルにおいて幕を開けました。

先ず、石橋剛副会長より開会が宣言され、水上弘祥会長より主催者を代表して来場の皆様にご挨拶を申し上げます。続いて、基調講演「鍼灸マッサージ業界の中央情勢について」として、公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会会長 伊藤久夫先生より今後の業界の方向性などをご講演いただきました。16時より特別講演「治療院経営について」を公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会副会長 保険局長 往田和章先生より、厚生労働省との協議の内容や受領委任払いなどについて大変詳しくご講演いただき、第一線でご苦労されているのがひしひしと伝わってくる内容となりました。

## ひまわり 174号

18時30分より創立85周年記念祝賀会が催され多数のご来賓の出席を賜りました。北海道知事代理 辻康弘副知事・札幌市長代理 岸光右副市長・伊藤久夫公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会会長より祝辞を、日本鍼灸マッサージ協同組合堀昌弘理事長には乾杯の音頭をとっていただきました。衆議院議員吉川隆盛先生秘書、衆議院議員橋本聖子先生秘書、参議院議員伊達忠一先生秘書の方々からも祝辞を賜り祝宴が行われ、東北鍼灸マッサージ師会連合会会長山田幹夫先生に締めの乾杯を行っていただきました。ご来賓の方々と道鍼師会会員あわせて78名の参加となり盛大に祝賀会が執り行われました。

29日(日)9時より分科会が始まり①第3回リハビリテーション医学講座「疼痛管理・痛覚障害・高次脳機能障害・浮腫などの障害評価」千歳リハビリテーション大学講師・作業療法士・鍼灸師 三浦正樹先生、②「スポーツ領域におけるあはき施術の実技供覧」青森県鍼灸マッサージ師会会長 笹川隆人先生・北海道鍼灸柔整マッサージ師会副会長 石橋剛先生・北海道鍼灸柔整マッサージ師会理事 臼井登先生、③「美容鍼灸安全管理講習」北海道鍼灸柔整マッサージ師会会長 水上弘祥先生、10時40分から④第4回リハビリテーション医学講座「医師が求める評価と書類記入方法、徒手検査方法の確認」千歳リハビリテーション大学講師・作業療法士・鍼灸師 三浦正樹先生、⑤「スポーツ医科学と各種業界との連携」青森県鍼灸マッサージ師会会長 笹川隆人先生の講座を午前中に行いました。

午後からは、(株)セイリン主催の基調講演「私の心を強くさせたケガ」と題し、元北海道コンサドーレ札幌所属・現ノルディーア北海道球団代表・北海道教育大学岩見沢校芸術・スポーツビジネス専攻 スポーツマーケティング研究室 専任講師 曾田雄志先生の講演が行われ、14時30分から、北海道鍼灸学校合同学習成果発表会が始まり、各学校代表より研究成果などが発表されました。

多数の参加をいただいたの第14回躍進大会となり成功裏に幕を閉じることができました。



## あはき法制定 70 周年厚生労働大臣表彰

11月5日（日）、東京有明医療大学であはき法制定 70 周年記念の集いが執り行われ、当会より札幌第 1 地区の朝倉先生が表彰者として出席致しました。先生は、（特非）札幌会・（公社）道鍼師会の役員としてあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の指導育成に尽力され、北海道社会貢献賞受賞などの実績を認められ今回の受賞となりました。朝倉先生の今後一層のご活躍を祈念し、お祝い申し上げます。



## 札幌市民憲章実践優良者表彰

11月2日（木）札幌市役所で、札幌第 4 地区の長屋 暁（ながや さとる）先生が、地域の厚い信頼と指導者として後進の育成に貢献されたことに対し、札幌市民憲章実践優良者として表彰されました。長屋先生の今後一層のご活躍を祈念し、お祝い申し上げます。



## 財 務 局

財務局長 平野 敬司

## 事務局まで至急連絡のお願い

6月号からお願いをしておりますが、平成 29 年度年会費を振り込んでくださった会員様で、振込用紙の通信欄にお名前・ご住所の書かれていない無記名の方がいらっしゃいました。日付は 6 月 12 日ですので、振込みの控えをご確認の上、お手数ですが至急事務局までご連絡ください。

## 保 険 局

保険局長 戸沢 茂

## 躍進大会報告

10月28日（土）開催の躍進大会で行われました（公社）全日本鍼灸マッサージ師会副会長 往田和章先生の講演について御報告いたします。テーマは「治療院経営について」でしたが、内容は平成 29 年 3 月 27 日に公表された「あん摩マッサージ指圧、はり・きゅう療養費の見直し



## ひまわり 174 号

について」の項目をひとつひとつ、厚生労働省・保険者・業界の考えや、その中で往田先生が感じたことなどを専門委員会の当事者でないと分らない視点からご講演頂きました。その中で来年の療養費の改定は厳しい物になるとの感想もありました。

# こちらは会員専用ページになります

**申請書は4日までに事務所必着でお願いいたします。**

### 視覚障がいのある鍼灸マッサージ師に対する電話相談について

公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会 視覚障害委員会より下記の文章が届いておりますので、ご案内致します。

全鍼師会の会員・非会員を問わず、視覚障がいのある鍼灸マッサージ師に対し、専門技術的事項、雇用や治療院経営等に関する相談助言を行い、問題点を解消し、その結果を生かし良質かつ適正な施術等を通じ、国民の健康保持増進を目的に電話相談事業を実施しますのでお知らせします。

#### 1. 相談日

平成 29 (2017) 年 11 月 8 日、11 月 23 日、12 月 13 日、12 月 28 日

平成 30 (2018) 年 1 月 10 日、1 月 25 日、2 月 14 日、2 月 22 日、3 月 14 日、  
3 月 22 日

#### 2. 相談時間

各相談日 12 時 30 分から 14 時 30 分まで

#### 3. 電話番号 0120-47-1414 (フリーダイヤル)

※ 全日本鍼灸マッサージ師会視覚障害委員会スタッフである視覚障がいあはき師がご相談を承ります。

### 躍進大会（公開講座終了）

今年6月より始めました全4回のリハビリテーション医学講座が10月29日（日）の躍進大会で全日程終了することができました。

今回の講座は現役の作業療法士・鍼灸師である三浦先生にお越しいただいてリハビリテーション医学を復習するとともに、実際のリハビリの技術についても学ぶことができました。札幌会場だけでなく、函館会場や旭川会場でも開催することができ、各地方の先生方にもたくさんのご協力・参加をいただきましたことを感謝いたします。

最終日である躍進大会での公開講座においては、会場がびっしりとなるくらいの先生方に参加いただき、これからの治療に役立つことと思います。全4回の講座全てを受講された先生には、本会認定の鍼灸師・あん摩マッサージ師の認定書が付与されます。

今後もこのような、臨床現場で役に立つ講座を開催していきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

### 平成29年12月・30年1月 研修講座ご案内

#### ○第1回臨床講座Ⅰ ★あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師対象

12月10日（日） 講義・実習 10:00～12:00/13:00～15:00

講 師：北祐会神経内科病院 中城 雄一（なかしろ ゆういち）先生

『脳血管疾患、パーキンソン病に対するリハビリテーション』

（内容）27年度に「リハビリテーションの基礎 関節可動域訓練、歩行訓練」というテーマでご講演いただいた理学療法士の中城雄一先生をお招きしての講座第2弾。

日々、パーキンソン病などの神経難病患者さんに対してリハビリを行っている実績から脳血管疾患やパーキンソン病等の患者さんに対するリハビリテーションについてご講演いただきます。訪問治療等で遭遇することの多い疾患で次の日から活用できるテーマとなっております。

★今回は北祐会神経内科病院から2名の理学療法士の先生にお越しいただき、主に脳血管疾患・パーキンソン病に対するリハビリの違いに着目した内容でご講義いただきます。

#### ○第2回臨床講座Ⅰ ★あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師対象

12月16日（土） 講義・実習 13:00～16:00

12月17日（日） 講義・実習 10:00～12:00/13:00～15:00

講 師：センター指導員

（土）鈴木 敏弘（すずき としひろ）先生・古川 美奈（ふるかわ みな）先生



## ひまわり 174号

(日) 鈴木 敏弘先生・古川 美奈先生・蛭谷 英樹(えびや ひでき)先生

### 『坐骨神経痛へのアプローチ』

(内容) 腰痛は二足歩行する人類にとって主要な愁訴の一つであり、84%の人が腰痛を一生のうちに経験するといわれています。

毎年行われる厚労省の国民生活基礎調査のデータによると、入院者を含まない腰痛の有訴率は約8.5%で、男女ともに高い愁訴となっています。なかでも、坐骨神経が原因となる病態は非常に多く、ここへのアプローチが不可欠になってきます。

しかし、坐骨神経は深部に存在すること、神経の走行に個人差があることなどから、刺激に際して困難さを感じている方も少なくないと思います。そこで本講座では、坐骨神経痛に関連する病態を簡単に紹介し、対象となる神経の部位を確実に見て、触って、確認できる方法を提示しながら、様々な施術法について紹介していきます。

### ○第3回臨床講座Ⅰ ★あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師対象

1月20日(土) 講義・実習 13:00~16:00

1月21日(日) 講義・実習 10:00~12:00/13:00~15:00

講 師：センター指導員(土) 羽立 祐人(はたて まさと)・蛭谷 英樹(えびや ひでき)  
(日) 羽立 祐人・蛭谷 英樹・吉村 篤(よしむら あつし)

### 『ストレートネック、VDT、寝ちがえなどによる諸症状の治療とセルフケア』

(内容) 特に女性に多いストレートネックは、頸椎の生理的彎曲が30度未満となり、肩こりや手のしびれ、頭痛など様々な症状を引き起こす“スマホ病”として注目されています。治療による改善が難しいところですが、治療のカギはセルフケアにあります。本講座ではストレートネックの発症機序から治療・セルフケアまでを詳しくご紹介します。また、VDT症候群や寝ちがえによる諸症状への治療も紹介します。日々の臨床で避けることのできない病態ですので、是非ご参加ください。

### ☆講座受講手続き☆

研修講座の受講を希望される方は、理療研修センター事務室までご連絡ください。資料や準備の都合上、講座開催前の金曜日までに電話・FAX・メールでお願いいたします。また、受講の取り消しや変更についてもお早めにご連絡ください。

受講者が多い場合はお断りさせていただく場合もございますのでご了承願います。たくさんの方の受講をお待ちしております。

北海道札幌視覚支援学校附属理療研修センター

TEL・FAX (011) 533-3253

メールアドレス ahaki@hokkaido-c.ed.jp

ホームページ <http://www.riryo.hokkaido-c.ed.jp>

生涯研修講師登録のお願い

## ひまわり 174号

全日本鍼灸マッサージ師会より、生涯研修講師登録の依頼がきております。

平成25年に全日本鍼灸マッサージ師会学術局では全国から生涯研修の講師登録をし、全鍼・都道府県師会の研修会などに講師として協力をしてきました。

今回は改めて情報更新と、新たな講師を募集し講師一覧を作成する予定です。講師の基準は学校で教育・臨床に携わるか、それに準じて臨床歴10年以上の方であれば登録が可能です。

これらの趣旨をご理解の上、会員の先生方に一人でも多く講師登録していただき、生涯研修の充実を図りたいと思います。

上記についての問い合わせ・登録希望は事務局までお願いします。

なお、講師登録締め切りは平成29年12月15日(全鍼必着)です。登録希望の先生はお早めにご連絡をお願いします。

### 地区からの報告

#### ひがしく健康スポーツまつり 2017

第1地区長 朝倉 正博

日時：平成29年10月22日 13:00~14:30

場所：東区つど一む(札幌市東区栄町885番地1)

はり・きゅう・あん摩・マッサージ・指圧の施術体験と相談コーナーで、たくさんの方々が体験に訪れました。

マッサージ体験 95名 はり体験 35名

協力頂いた会員 11名

大変好評の中、終了することが出来ました。皆様ありがとうございます

#### みそのワッ・輪・和のつどい 参加報告

札幌第3地区長 福良 均

平成29年11月5日(日)に豊平区民センターにて「みそのワッ・輪・和のつどい」(札幌市豊平区保健福祉部より依頼)が開催され、例年通り会場の一隅に「はり、温灸、指圧マッサージ体験とご相談コーナー」が設置された。本会からの施術協力者10名で、イベント来場者の体験施術に対応した。時間は13時20分から14時50分までの1時間半で、60名の施術体験希望者が訪れ、様々な体調に関する質問にも丁寧に耳を傾けた。



# ひまわり 174号

## 「白石すこやかフェスタ 2017」活動報告

札幌第4地区地区長 片平 巧

日時：10月28日(土)12時～14時まで

場所：新白石区民センター

札幌第4地区11名の会員及び会員治療院施術者により65名の白石区民の皆様に鍼とあん摩マッサージ指圧の施術体験を行った。前回同様に柔整師の参加があれば整骨院についての説明ができたことを併せて報告します。

札幌市では毎年、各地区、健康フェアなどで道鍼師会を指定して、『はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧の施術体験と相談コーナー』を設けていただき、白石区などは、すこやかフェスタ実行委員会主催者として参加させていただいています。また、地域の皆様との連携のもと、健康づくり・介護予防についての事業に参加させていただくということは、鍼灸・あん摩マッサージ指圧は評価をしていただいているからこそだと思っております。地域にしっかりと鍼灸柔整マッサージを伝えていくには、道鍼師会会員の皆様の参加協力が必要となりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 平成29年度道南地区学術研修会及び総会を終えて

道南地区長 臼井 登

去る、11月11日(土)12日(日)の両日、函館湯の川温泉 湯の浜ホテルを会場に、平成29年度道南地区学術研修会が開催されました。

一日目11日(土)は、道南地区会議を開催  
平成29年度11月現在までの  
事業及び決算報告を承認。その後、次年度からの  
体制として現臼井より、三浦維子新地区長を選任し  
30年度の事情計画及び予算を承認。  
新体制にて、道南地区を運営するべく  
活発なご意見をいただきました。



その後、当地区の浜田先生、長崎先生による「治療院運営における保険取扱Q&A」と題し90分に渡り、これまでの保険制度の解説および当時の苦労話も含め、また今後についてなどの内容のお話をいただきました。その後、懇親会では、各先生方との近況等の情報交換を食事を交えながら交流を深めました。

二日目12日(日)は、北海道札幌視覚支援学校附属北海道理療研修センターの吉村 篤先生・蛭谷 英樹 先生の2名の先生をおむかえして、『緩和ケアやフレイルの方のための施術法』と題して、25名の先生の参加により実技を中心に手技療法や鍼の実技をたっぷり講義していただきました。

実技では、参加の各先生方で積極的にモデルや術者をおこない盛況でした。

来年も地区として積極的に機会を作れるようにしていきたいと思っております。

## 道東地域研修会開催報告

## ひまわり 174号

道東地区地区長 羽山 康雄

11月4・5の両日にわたり、帯広市において道東地域研修会が開催されました。

4日には「低周波鍼・経皮通電療法の行い方」について研修を行い、主に実技を中心に行われた。その後、保険セミナー、道東地区総会を行い、本研修会の講師の先生を迎えての懇親会が行われ1日目を終了した。

2日目の5日には、「緩和ケアやフレイルの方のための施術法」についての研修を行った。実技では、タッチケアについて実践した。

二日間にわたりご後援をいただいた、北海道札幌視覚支援学校附属理療研修センターの鈴木敏弘・古川美奈両先生にはこの紙面をお借りしてお礼申し上げます。

本研修会参加者は17名でした。参加された会員の皆様、大変ご苦労様でした

## 事務局便り

### 使用済み鍼の回収について

道鍼師会事務所にて「廃鍼」の回収を行っております。

回収を希望される方は、下記の注意事項を守り、事務所までご持参ください。また、総会・躍進大会等の時にも、受付いたします。

- ※ 事務所への持参は、月曜日～金曜日（祝日以外） 9:00～17:00 までの受付です。
- ※ 回収時注意事項（下記参照）に反している場合、会場では回収できかねますのでご了承下さい。
- ※ 危険物医療廃棄物等の法令により宅急便、郵便等による、送付は受けられませんので必ず、ご持参ください。
- ※ 回収時注意事項
  - 1 廃鍼は蓋つきの空き瓶、空き缶、ペットボトル等に入れ、蓋をしっかり閉めてからガムテープ等で密閉し、中の廃鍼が外に漏れないようにして下さい。
  - 2 しっかり密閉していても、紙製容器の場合は回収できません。
  - 3 容器は内容量に見合った大きさの物で、必ず、容器いっぱいにしてからお出し下さい。
  - 4 容器ごと回収いたしますのでお持ちになった容器の返却はできません。

住所変更等 がございましたら、速やかに 事務局へお知らせ下さい。変更等の書類をお送り致します。

全鍼師会会員の皆様へ

### 安心のマーク取り扱いについて

安心のマークは、有資格者であるということの証として広く国民の皆様方に周知していただくために考案されました。このマークの取り扱いには著作権法に触れるおそれがありますので、無断使用はできません。以下の点を遵守しご活用願います。

- 【 使用条件 】
1. 全鍼師会にご加入いただいていること
  2. 使用目的としては治療院のPR、名刺など
  3. 師会活動でのイベントなどでの活用
  4. 年度を超えての使用については、更新手続きが必要
  5. 使用する際には、事前に道鍼師会へ申し込みが必要

当会の会費につきましては消費税の課税売上に該当いたしません。  
この会費は会員の皆様の消費税課税仕入れに該当いたしません。